

2022年生まれ大集合

2022年は寅年（36年に1回の五黄の寅年）。
今回の特集では滝川市の寅年の皆さんを新年の抱負と共にご紹介します。

1月
滝川警察署新庁舎完成

2月
・新型コロナウイルスワクチン接種実施本部を設置
・たきかわ紙袋ランターンフェスティバルをオンライン開催

3月
・札幌交響楽団と市民らによる滝川初の第九コンサート開催

滝川市の2021振り返り

1974年（昭和四十九年）生まれ
丸岡 宣久さん

健康 第一

1986年（昭和六十二年）生まれ
田中 美晴さん

前向きに 過ごす。

1998年（平成十年）生まれ
運上 颯紀さん

日々成長 できる1年に

2010年（平成二十二年）生まれ
菅原 爽良さん

思い出で一杯に なる1年にしたい!



昔から活字が大好きで、さまざまな本を読んでいたため、新聞社や出版社など活字に係る仕事があったとのこと。だからこそ、皆さんにはネットだけでなく、紙媒体に触れ、情報を採る楽しさを感じて欲しいそうです。

高校まで伊達市で過ごされた丸岡さんは、大学、北海タイムスを経て、平成11年に空知新聞社（プレス空知）に入社。今では滝川が故郷よりも長くなりました。かつて先輩から「地方は地域から情報をもらい記事を書かせてもらうので、逆に人と交流するなかで、自分の持つ知識や情報を提供し、活動の一助になるような貢献も必要」と言われたことが心に残り、地方記者として、人と人、人と情報をつなぎ、少しでも地域の元氣、活性化の力になりたいと取材に奔走されます。



旅行が趣味で、道内はもとより青森、横浜、京都へ。海外は台湾にも行かれ、特に九份がお気に入りです。コロナが落ち着いたら長崎へ行きたいそうですが、観光よりも温泉や食がメインなので、宿選びに力が入ります。

生まれも育ちも砂川市ですが、高校は滝川高校で、天候が悪くなければ片道10キロメートルの道のりを自転車車で30分かけて通学していたそうです。そのうちに、食べ物の組み合わせや栄養面で健康が成り立っていることへの興味から栄養士の道を志し、現在は近隣の病院で働かれています。令和3年4月に滝川へ引っ越しされたそうですが、実際に住んでみると、小さな喫茶店が多いことに気づき、最近は休日の開拓するのが楽しみのことです。



趣味はソフトテニスで、小学校3年生のときに父に連れられて行ったのが始まりだそうです。それから中学、高校、大学と続け、現在も部活の顧問として指導しながら、週1、2回自身も選手として練習を続けています。

令和3年4月から、母校である明苑中学校の教諭として国語を教えている運上さん。「いつかは母校の教壇に立ちたい」と思っていました。まさか最初の赴任校になるとは思ってもいなかったそうです。そもそも先生を目指すきっかけは、中学校の担任の先生にとてもお世話になったことで、漠然と憧れを抱いていたところ、さらに高校でもいい先生に巡り合い、教育者になる決意を新たなものにしました。中学からの夢を叶え、今度は生徒に夢を与える先生へ！



好きな教科は理数系で、趣味は音楽。聴くことも歌うことも大好き。でも、中学校では合唱部がないため、吹奏楽部への入部を考えているそうです。ちなみに、将来は親と同じ介護の道に進むのが夢とのこと。

東小学校5年生の菅原さんは、3年生のとき合唱部に入り、その年のNHK全国学校音楽コンクール道央地区大会で見事金賞。連続受賞を目指した昨年は残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となりました。今年こそはと臨んだ本大会も開催が危ぶまれますが、無観客のなか無事開催され銀賞となりました。なお、次年度は新部長として、部を引っ張っていきます。コロナ禍が落ち着いたら、また家族で旅行したり、車中泊したりと思いい出を一杯作りたいそうです。

【ホテルスエヒロオープン】

ほかにも：
・あさひ保育所開設
・滝川郵便局舎新築落成
・移動図書館車運行開始
・市宮陸上競技場落成

【美術自然史館開館】

ほかにも：
・滝川駅前地下歩道完成
・西友滝川店オープン
・緑地区公民館完成
・保健センター竣工

【滝西甲子園出場】

ほかにも：
・滝川市農協、江部乙町農協、赤平市農協が合併し、「たきかわ農協」となる
・滝川市制施行40年

【白鵬関観光大使就任】

ほかにも：
・滝川開村120年
・そらぶちの森完成